

## 結果の要約

### 1 職業

滋賀県の15歳以上就業者数(680,478人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が237,151人(15歳以上就業者数の34.9%)と最も多く、次いで「事務従事者」が124,738人(同18.3%)、「専門的・技術的職業従事者」が94,476人(同13.9%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が8,980人(17.8%)増、「保安職業従事者」が677人(7.3%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事者」が3,475人(19.4%)減、「運輸・通信従事者」が442人(2.3%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が37.7%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が34.3%、「販売・サービス関係職業」が22.7%、「農林漁業関係職業」が3.9%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ0.9ポイント、0.2ポイント上昇しているのに対し、「事務・技術・管理関係職業」、「生産・運輸関係職業」がそれぞれ0.6ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」  
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」  
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」  
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業者」

### 2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.9時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が48.8時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が46.0時間、「管理的職業従事者」が45.6時間などとなっている。平成12年と比べると、「農林漁業作業者」が0.1時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が1.9時間減、「販売従事者」が1.7時間減などとなっている。

### 3 夫婦の労働力状態，職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が159,611組(夫婦数348,481組の45.8%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が112,335組(同32.2%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が24,444組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の15.3%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業者」、妻が「事務従事者」である夫婦が15,500組(同9.7%)などとなっている。

### 4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は143,424世帯(住宅に住む一般世帯463,708世帯の30.9%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は320,284世帯(同69.1%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が100,965世帯(同21.8%)、「女性のみ」の世帯が64,912世帯(同14.0%)、「幼児と女性のみ」の世帯が33,443世帯(同7.2%)となっている。

図1 滋賀県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

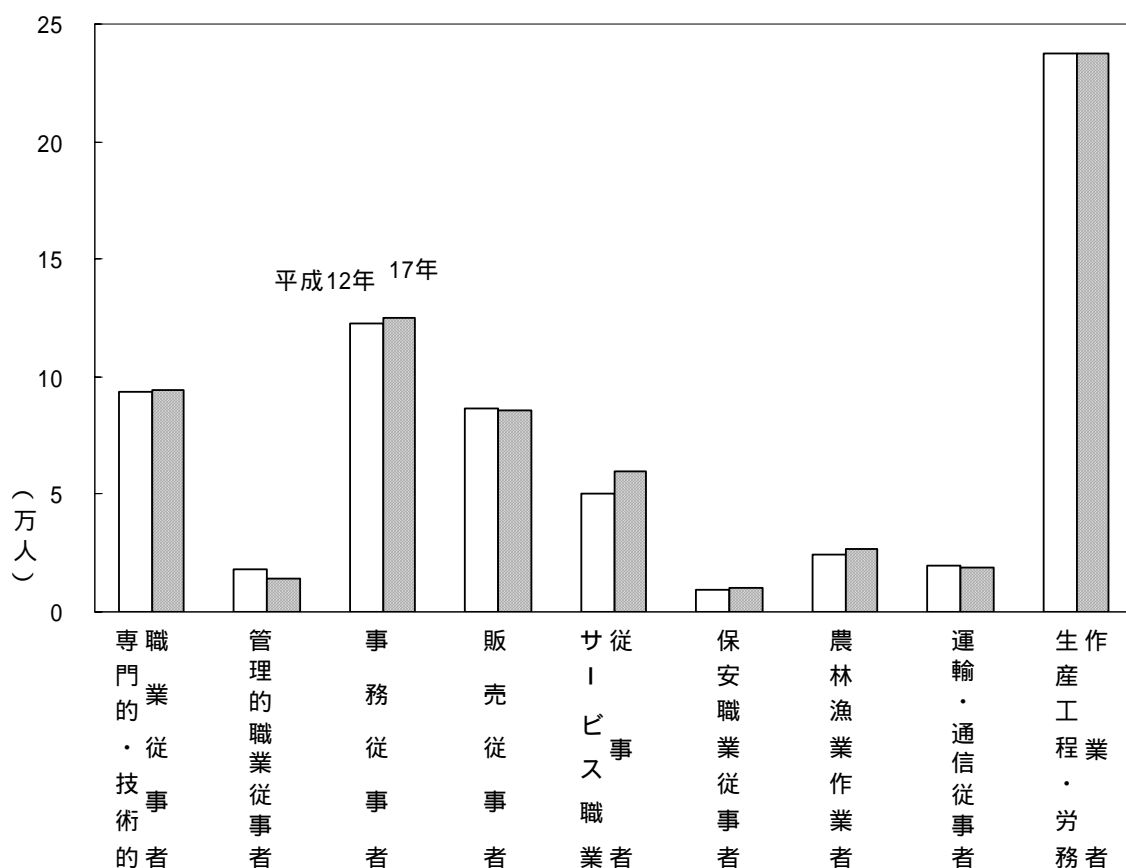


図2 滋賀県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

